

事業名 「謙信KIDSスクールプロジェクト～海と山と大地の楽校～」

趣 旨 14市町村が合併し、多様となった自然、歴史、文化など、豊富な地域資源を活用した、様々な体験活動を入口に、子どもたちの好奇心や知的探求心を刺激し、心豊かでたくましい子どもたちを育成する。

実施主体 上越市教育委員会生涯学習推進課 及び 各区教育・文化グループ

参加対象 小・中・高校生（楽校によって異なる）

参加者数 計518人（楽校ごとに定員を設定）

回数・日数 各楽校4～15回（延べ146回） **時 間** 1回あたり3時間～1泊2日

場 所 市内全域（楽校によって異なる）

内 容 （期日は通年。楽校によって異なる）

楽校名	参加者	内容・方法	講師等
森の楽校 (2コース)	小学生計50人	森のハイキング、キャンプ、ブナの植樹 など	地元トレイルガイド
木の楽校 (2コース)	小学1～4年生 計32人	自然の素材を使った木工工作 など	NPO法人 木と遊ぶ研究所
川の楽校	小学4～6年生 15人	川の探検、鮭のつかみ取り・稚魚の放流 など	名立川漁業生産組合 海洋高校教諭 他
郷の楽校 (2コース)	小学1～4年生 計51人	市内各地域で行われている様々な特色ある活動	地域住民
毘の楽校	小学4～中学生 25人	上杉謙信の学習、春日山探検、義の塩作りなど	市職員 地元活動団体
レルヒの楽校	小学3～6年生 16人	日本スキー発祥の歴史やレルヒ少佐の学習、一本杖スキー体験 など	市職員 レルヒの会
星の楽校	小学4～中学生 21人	天体の学習、星座観察、望遠鏡作りなど (宿泊)	上越清里星のふるさと館職員 他
雪の楽校	小学5～6年生 7人	雪の学習、雪の実験、雪遊び など	上越科学館職員 他
発酵の楽校	小学4～中学生 20人	坂口謹一郎や発酵の学習、パン・味噌などの発酵食品作り	中学校教諭、NPO法人くびき来夢ネット他
海の楽校	小学4～6年生 30人	実習船での体験航海、海釣り、全国豊かな海づくり大会参加 など	地域住民、海洋高校教諭 他
魚の楽校	小学4～中学生 22人	水生生物観察、水族館ナイトツアー、他市の水族館訪問 など	上越市立水族博物館職員
縄文の楽校	小学3～中学生 24人	まが玉・土器・石器作り、ニジマスつかみ取り体験 など	専門家、市学芸員他
空の楽校	中学生2人	パラグライダー体験、モデルロケット作りなど	尾上岳パラグライダースクール 他
美の楽校	小学1～4年生 25人	オリジナルのぼり旗作り、パン作り、教室まるごとペイント など	ContinueArtProject 実行委員会
メロディの楽校	小学1～3年生 26人	ハンドベルの演奏、合唱、ミニコンサートなど	地元音楽サークル
音の楽校	小学1～5年生 9人	草笛体験、雅楽の演奏、合奏	月影雅楽保存会
古径の楽校	小学5～6年生 3人	小林古径の学習、作品鑑賞、日本画制作	上越教育大学准教授

楽校名	参加者	内容・方法	講師等
陶芸の楽校	小学4～中学生 22人	陶芸の学習、作品作り、展覧会へ出品	妙高焼高井陶房
そばの楽校	小学3～5年生 20人	上越特産のそば「とよむすめ」の栽培、そば打ち体験、上越そばまつり参加 など	上越そば研究会 他
緑の楽校	小学4～6年生 11人	稲作体験、オリジナル茶碗・箸作り	地元生産組合 他
巧の楽校 (2コース)	小学4～6年生 計47人	オリジナル発明工作、作品発表会 など	専門家

※この他に、宿泊を伴わない「星の楽校」(単回開催)を実施。

- 成 果**
- ・ 今年度は1人1校のみの参加としたため、多くの子どもが本当に興味のある楽校へ申込を行ったとみられ、19年度に比べて各回の参加率が高くなっている。
 - ・ 抽選の際に友達同士の申込を考慮しなかったものの、多くの子どもが、すぐに新たな友達関係を築くことができていたことから、異学校・異学年交流の促進につながった。
 - ・ 楽校終了後に講師を務めてくださった団体へ加入するなど、子どもたちの以後の自主的な学習活動につなげることができた。
 - ・ 楽校の中で作成した作品が展覧会に入賞するなど、子どもたちの自信を創出できた。
 - ・ 県の職員や社会教育委員など、外部関係者による視察・評価をいただく機会があり、担当者だけでは気づけなかった問題点などを指摘していただくことで、以後の事業改善につなげることができた。

- 課 題**
- ・ 中高生の参加者が少ないことが、事業発足当初から懸念事項となっている。今年度は主にボランティアとして募集したものの、参加者確保にはつながらなかったことから、ニーズと参加のしやすさを考慮したプログラミングを行う必要がある。
 - ・ 指導等での協力だけでなく、「きっかけ」としての楽校終了後の中・上級レベルの活動の受け皿として、地元NPO団体やサークル・団体等との連携体制構築に努める。
 - ・ 楽校の増加に伴い、複数の楽校で同種の活動が重複することがあることから、楽校ごとの特色を活かすべく、内容の整理を行うことが必要。
 - ・ 限られた予算と人員体制の中で、いかに魅力ある企画を立案、運営できるか、担当職員間の協議だけにとどまらず、外部の意見を取り入れながら工夫して事業を行う必要がある。

問合せ先 上越市教育委員会 生涯学習推進課 社会教育係 TEL：025-545-9245